

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓
 (T E L 06 - 6397 - 1888)

業績予想（連結・単体）の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期 中間連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	4,145	321	157
今回修正予想（B）	3,404	76	47
増減額（B - A）	740	245	110
増減率（％）	17.9％	76.2％	70.2％
（ご参考） 前期（平成 16 年 3 月期中間）実績	3,697	119	62

2. 平成 17 年 3 月期 中間単体業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	3,316	296	142
今回修正予想（B）	2,551	60	37
増減額（B - A）	765	235	105
増減率（％）	23.1％	79.5％	73.8％
（ご参考） 前期（平成 16 年 3 月期中間）実績	2,922	101	51

3. 修正理由

当中間期の調剤薬局向けシステム事業及びその他関連事業におきまして、ネットワークシステム事業は堅調に推移したものの、漸進する医療改革を見据え昨年度リリースした新製品「Recepty」に機能の一部、主に在庫管理機能において、よりユーザーニーズに対応するため、プログラムの調整が必要となり、在庫管理機能を活用するユーザーが買い控えをしたことから、売上高が当初予想を下回る見込みとなりました。経常利益並びに中間純利益につきましても、販売費及び一般管理費の効率的運用を推進してまいりましたが、売上高減少の影響により、当初予想を下回る見込みとなりました。下半期からは、「Recepty」の機能の調整が完了するとともに、新製品の投入効果や業務提携による効果等が見込まれ、上半期の落ち込みを下半期で取り戻すべく販売促進してまいります。

今回の単体決算の中間業績予想の修正に伴い、連結決算の中間業績予想も修正いたします。

なお、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）通期の連結、単体の業績予想につきましては、中間決算発表時に公表する予定であります。

また、1 株当たりの配当予想につきましては、現時点で修正の予定はありません。

（注）本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上